

めざそう 1人1日 40g の減量!

40gって
どれくらい?

玉子 Mサイズ
1コ
約50g

乳酸菌飲料
1/2本

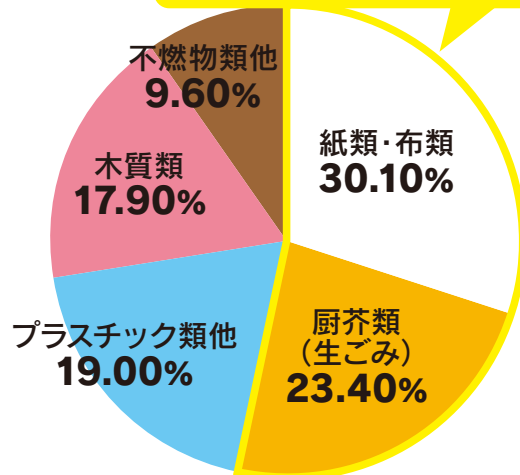
循環型社会システム構想の資源化率40%をめざして、環境基本計画では、1人1日あたりのごみ量(資源物を差し引いたもの)440gを目標にしています。

平成24年度は1人1日あたり480gです。1人1日あたり約40g(5人家族で200g)の減量をめざしましょう。



200gの
紙ごみや
生ごみ

燃やすごみの大部分は、
紙類・布類と厨芥類(生ごみ)



可燃ごみ(家庭系)の組成分析(平成23年8月30日調査結果)

分別できるものは、資源として再利用し、
ごみの量を減らしましょう!



トイレットペーパーやラップの芯も資源になります。
分別して「雑誌類・ざつ紙類」に出しましょう!

この調査をみると、紙類・布類と生ごみが半数以上を
占めています。
この2つを資源に出来れば...

資源化率大幅Up!!

1 できることから始めよう! 生ごみ減量

- ① 必要な分だけ買いましょう!
- ② 食材を丸ごと使ってみましょう!
- ③ 生ごみなど水分が多いものは、なるべく水気を切って捨てましょう!



生ごみの水分は
悪臭や腐敗の原因の
ひとつでもあります。
水切りだけでも
生ごみの量や重さが
減ります。

- ④ 堆肥化にチャレンジ!

2 紙類をもっと資源に!

- 包装紙や商品が入っていた箱も資源として「雑誌類・ざつ紙類」に出しましょう。
*ごみ箱のそばに、紙袋を置いておくと便利です。
- 紙類は雨の日でも収集しますが、大雨のときはできるだけ次の収集へご協力をおねがいします。



段ボールは、十文字に縛って出す。
(ガムテープは付いていてもかまいません)

新聞の折込広告は、新聞紙と一緒に十文字に縛って、直接地面に置く(広告のみ別にできる場合は「雑誌類・ざつ紙類」へ)。

ざつ紙類は(名刺の大きさ以上のものならOK)、十文字に縛るか紙袋に入れて、直接地面に置く。

飲料用紙パックの内側がアルミ張りのものは、燃やすごみへ。

資源に分けて



ごみ減量!!

23分別+1 収集で減量中

「脱埋立」・「脱焼却」をめざして、平成12年4月から23分別収集を始めました。現在は、「家庭用陶磁器食器」の収集も各地域のリサイクルステーションではじめ、「23分別+1」収集として資源化に取り組んでいます。

10年前と比べて20%の減量を達成!

みなさんの取り組みの成果として、平成24年度の1人1日あたりのごみ量は480gとなり、10年前の平成15年度の604gと比較し、約20%の減量を達成しています。

しかし、ごみ処理費用や処分場の課題があり、引き続き資源化をはかり、ごみの減量を進めていく必要があります。

循環型社会システム構想

「脱埋立」・「脱焼却」をめざして、平成10年度に「循環型社会システム構想」を策定しました。「循環型社会」とは、リサイクルを進め、最終的に燃やしたり埋め立てたりするごみを減らし、さらに再生産された商品を私たちが使っていくことで、「生産→消費→収集→再資源化→生産→消費」を循環させようというものです。

当初、最終的な目標数値として平成27年に95～100%の再資源化をめざすものとして策定されましたが、B段階の終了年次(2010年)に中間検証を行い、家庭ごみの平成27年における目標資源化率*1を40%に見直しました。今後は、ごみ総量の減量に向けた取り組みをすすめるとともに、混入率の高い紙類の分別や生ごみの資源化等を促進することが必要となっています。また草木類については、収集方法を含めた検討が必要となっています。

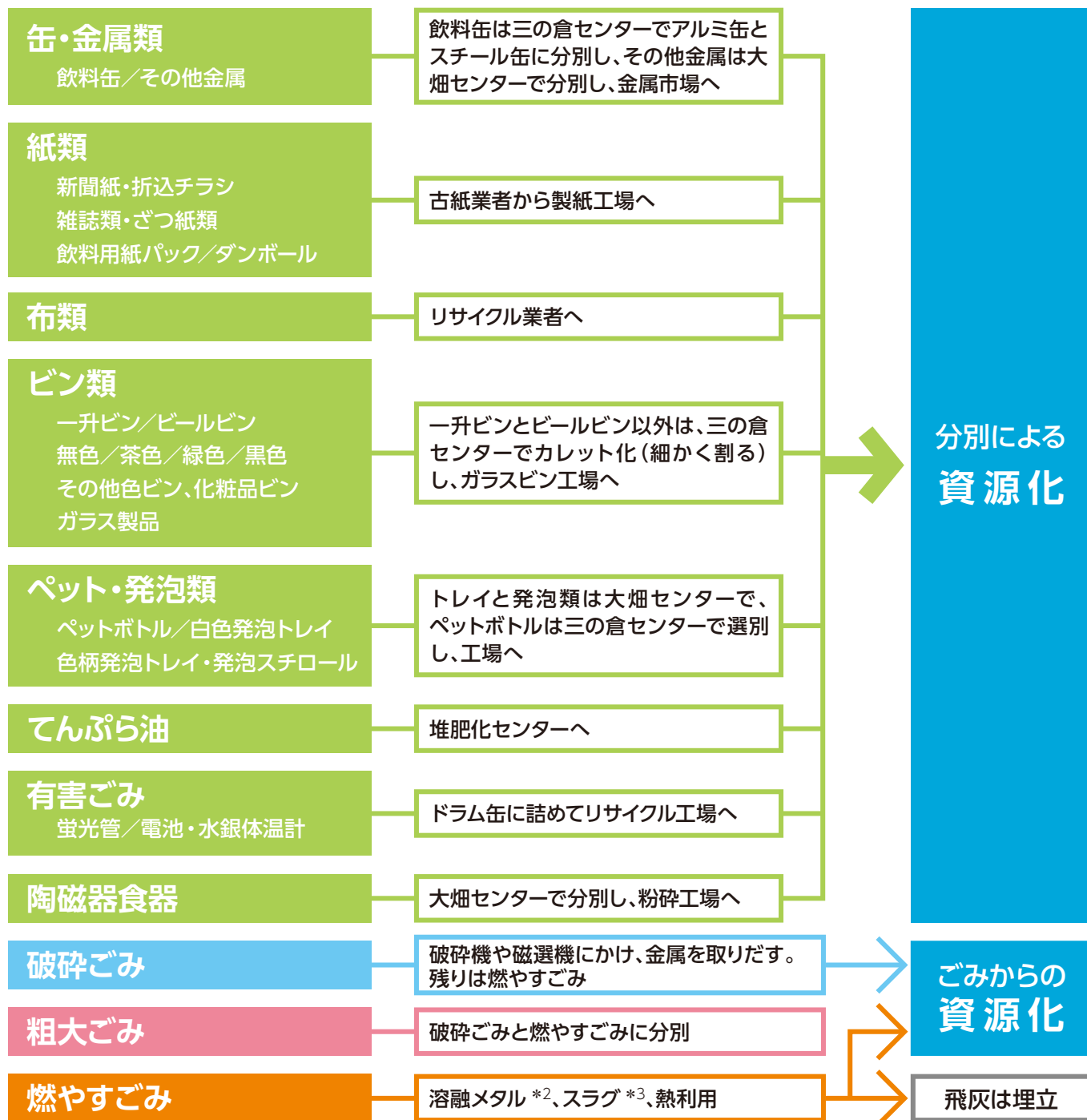
多治見市循環型社会システム構想の目標(平成27年度までの計画)である『資源化率40%』を達成するために、減量しなければならないごみの量の目標(中間検証時での試算)は、下記の通りです。

紙類・布類	1160t
厨芥類(生ごみ)	200t
草木類	390t
陶磁器製食器	40t
プラスチック容器包装類	110t

*1…家庭から出たごみを処理した量と資源化できた量の割合を下記の計算式で求めます。

資源化率(%) = 資源化量 ÷ ごみ処理量 × 100

23分別+1 収集の処理の流れ



**ごみを
処理するために
かかる費用は
どれくらい？**

平成24年度は、ごみ処理で、約14億1,700万円の費用を要しています。

ごみ処理に必要な費用を、平成24年10月1日の人口(115,488人)で割ると、1人当たり12,269円の費用がかかっている計算となり、1人1日あたり約34円となります。

ごみを
処理するのに、
たくさんの費用が
かかるんだね。



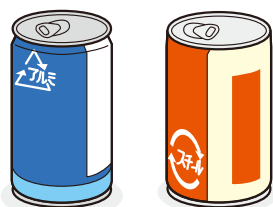
ごみを減らして、
ごみ処理にかかる
費用を減らさないと
いけないね。

分別したものはどうなるの？(資源ごみ編)

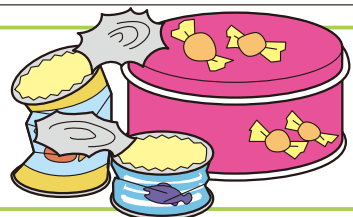
飲料缶
アルミ缶
スチール缶



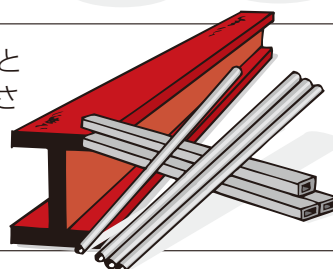
主に飲料缶として再資源化されます。



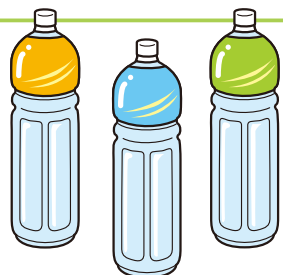
その他金属
缶詰の缶や
お菓子の缶



主に建築資材として再資源化されます。



ペットボトル



主に衣類などの繊維製品、ボールペンなどに再資源化されます。



エコバッグは100%再生品です。

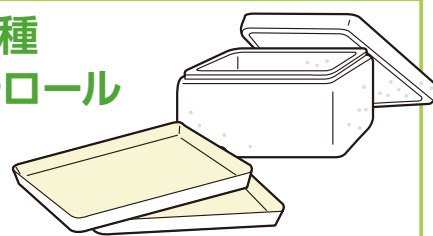
ビン各種



色ビンはそれぞれの色ビンに再生されます。
一升ビンやビールビンはリターナブルビンとして再使用します。
その他ガラスは路盤材やコンクリート2次製品の骨材などに使用します。



トレイ各種
発泡スチロール



白色トレイはもう一度トレイに生まれ変わります。
その他の色トレイはスチロールの塊(インゴット)に加工され、プラスチック工場に送られます。



新聞
雑誌
お菓子の箱
段ボール
牛乳パック



新聞



ダンボール

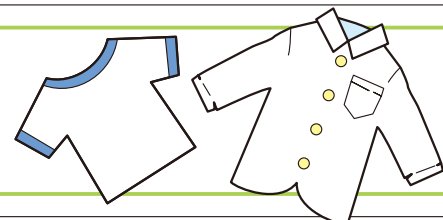


本・雑誌



トイレトペーパー

衣類



状態が
いいもの
状態が
良くないもの

そのまま再利用

ウエス(雑巾)などに利用

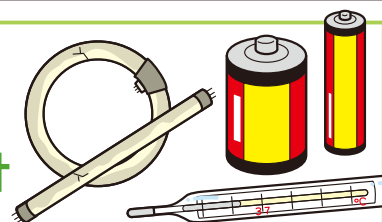
陶磁器食器



Re食器

細かく粉砕し、陶磁器(Re食器)の原料や耐火物の原料として生まれ変わります。

電池
蛍光灯・
水銀体温計



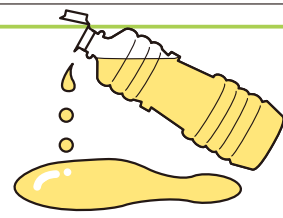
電池のケースは鉄に、中の亜鉛はコーヒー用肥料として輸出されます。

口金は金属に、ガラスは断熱材(グラスウール)に再生されます。

水銀は再利用されます。



てんぷら油



専用の機械でディーゼルエンジンの燃料に加工します。
この燃料のことをBDF(バイオディーゼル燃料)といい、清掃事務所のトラック燃料に使用しています。

リサイクル
ステーションで
気をつけて
欲しいこと

ごみや資源の出し方についてよくある問い合わせや間違いを紹介します。

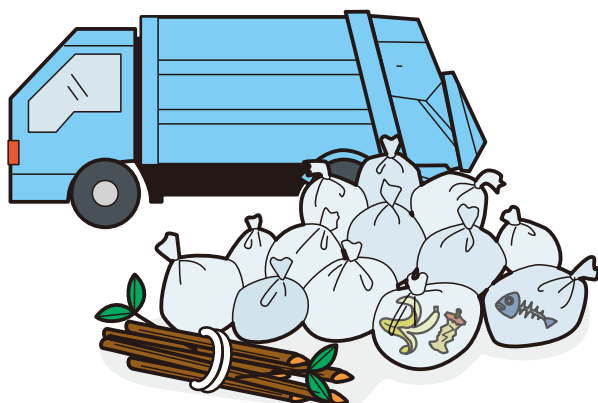
ビン、ペット、発泡類

出し方	注意事項	出し方	注意事項
一升ビンやビールビンは、サンテナに寝かせて出す	●割れたり、ヒビが入ったものは該当の「色ビン」へ ●粉々であれば、紙に包んで「燃やすごみ」へ	みりんや醤油のペットボトルは、「ペットボトル」へ出す	●ソースと油とドレッシングのペットボトルは「燃やすごみ」へ
ガラス製品(コップや皿など)は、「その他色ビン、化粧品ビン、ガラス製品」のサンテナに出す	●色に関係なく「その他色ビン、化粧品ビン、ガラス製品」のサンテナへ	インスタントラーメンの白いカップや発泡スチロールは、「色柄発泡トレイ」のエコバッグ(青色の折りたたみ式ネット)に出す	●シールやテープは取り除く ●ネットや粒状の発泡スチロールは、「燃やすごみ」へ
ペットボトルは、フタを外してエコバッグ(青色の折りたたみ式ネット)に出す	●フタは外して「燃やすごみ」に ●表示のあるものは軽く洗って「ペットボトル」のエコバッグ(青色の折りたたみ式ネット)へ		

缶・金属、紙、布類

出し方	注意事項
金属とプラスチック、ゴム、木などの混合物は「破砕ごみ」に出す	●ゴムやビニール付金属のフタ、木製や樹脂製の柄のついたフライパンや鍋など
スプレー缶は中身を使い切り、必ず穴を開けて「その他金属」へ	●穴は屋外の火の気のいないところで開ける
アルミ缶とスチール飲料缶は、「飲料缶」のエコバッグ(青色の折りたたみ式ネット)に出す	●1リットルを超える飲料缶は、「その他金属」へ ●アルミ缶とスチール缶は分ける必要はない

燃やすごみも再資源化をすすめています



ごみを燃やした時にできるガスの熱を使って発電しています。



溶融メタルは、金属仲買人を通して市場に出荷されます。建設機械等のカウンターウェイト（建設機械等が倒れないようにするおもり）に利用されてきましたが、最近は海外に輸出されることが多いようです。

溶融メタルを取り除いた後のスラグは、岐阜県リサイクル認定品「エコ丸くん」に認定され、コンクリート2次製品や道路舗装の路盤材に使用されています。

燃料となるコークスや廃木材チップ、石灰石を入れてごみを燃やし、灰の中から**溶融メタル***2と**スラグ***3を取り出します。

*2 溶融メタルとは …
廃棄物を焼却炉で加熱し、液状になったものから取り出した金属の塊



*3 スラグとは …
溶融メタルを取り除いた後の粒をそろえたガラス状の砂



(JISA5031)
コンクリートを作る際に砂の代わりに使用



(JISA5032)
アスファルト合材を作る際に砂の代わりに使用



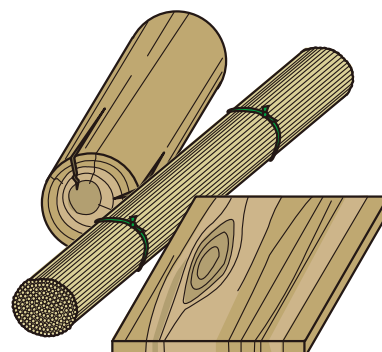
最後に残ったものが「飛灰」

「飛灰」に含まれている資源の再利用については、今後の課題です。
現在は、大畑センターの最終処分場で埋立処分をしています。

お願い

三の倉センターに搬入されたごみは、クレーンで焼却炉へ投入しますが、焼却炉の入口は、1m少々しかありません。

指定袋に入りきらない「燃やすごみ」については、サイズを1m以下にして、粗大ごみシールを貼ってごみステーションに出してください。



市では、生ごみ処理機や生ごみ処理容器の購入費の補助を行っています

補助金額

★ 生ごみ処理機の場合

本体購入費用の1/4で限度額10,000円。1世帯1基まで。

★ 生ごみ処理容器(コンポスト、ボカシの場合)

本体購入費用の1/4で限度額2,500円。1世帯2基まで。

※補助は、生ごみ処理容器等の種類ごとに1回に限ります。

補助対象者

市内に住所登録があり、実際に住んでいる世帯主の方で、税金、保険料、使用料等に未納のない方

申請期限

購入後6ヶ月以内

詳細は市役所環境課廃棄物対策グループ
(電話：22-1111 [内線1333・1334・1335]) まで



生ごみ処理前

処理後は重さが
1/6~1/7に!!



生ごみ処理後

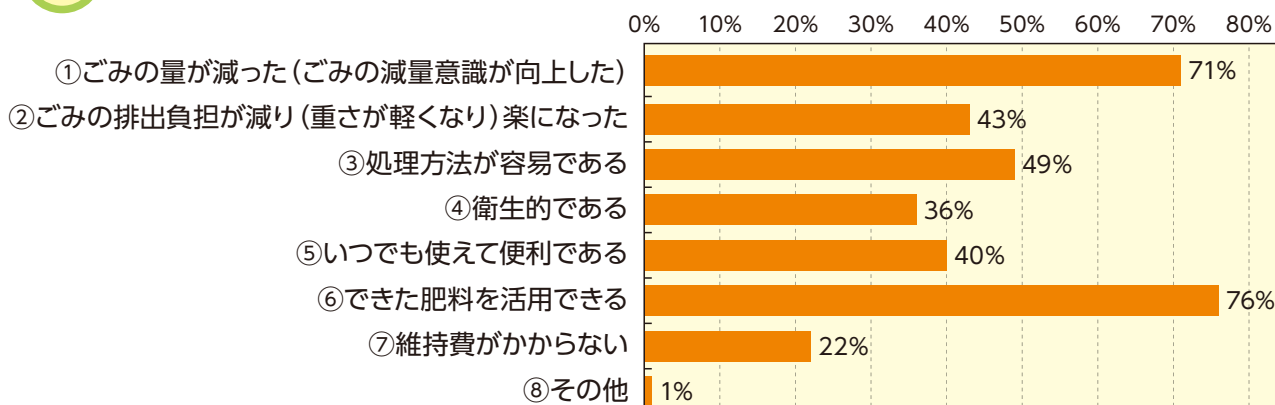
※ ボカシやダンボールコンポストを環境課で取り扱っています

生ごみ処理機や生ごみ処理容器利用者の声 (平成24年度アンケート調査より)

回答者230名の内75% (173名)の方が継続して使用しており、「ごみの量が減って良かった」「堆肥が活用できて良かった」と回答しています。



使って良かったことはありますか? (現在でも生ごみ処理機等を使用していると回答した方に「複数回答可」でお聞きしました)



できた堆肥できれいな花やおいしい野菜を育ててみませんか。

平成25年度のエコカレッジ(環境講座)では、堆肥を利用して、ゴーヤの苗を植えました。



平成25年4月から「小型家電リサイクル法」がはじまりした

多治見市では、法律が施行される前から、収集した「破碎ごみ」のうち、「小型家電（コンセントもしくは電池やバッテリーで動くもので、家電リサイクル法の対象品目を除く電化製品）」については、職員により「高品位・低品位の家電」とそれ以外の家電に分別した上で、民間事業者において再資源化をすすめてきました。法律の施行（平成25年4月）以降も継続して取り組んでいます。

小型家電はコードをつけたまま「破碎ごみ」に！

電化製品のコードは、切り取って1m以下にして「燃やすごみ」へ出していただき焼却してきましたが、コードについても電化製品の一部として資源化することができるようになりました。**平成26年4月からは、コードをつけたまま「破碎ごみ」**で出していただけるようになります。

地球温暖化防止と施設の延命化をめざして ～ 基幹改良工事中！

三の倉センターは、平成15年に建設され、「コークスヘッド式直接熔融炉」という方式を採用しています。

通常15年から20年とされている施設の寿命を30年間に延命するとともに、焼却時の熱効率を高める工事を行い、地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素の排出量を削減するため、平成23年度から4年をかけて、改良工事を行っています。

また、三の倉センターでは、平成15年度からごみを焼却するときに出る熱を利用して発電をし、発電した電気は場内で使用しています。平成22年度後期からは、ハイブリットコークスを使用し、焼却にかかる費用削減に努めています。

平成26年度には、再生エネルギーの普及の促進と、企業との連携協力を目的とした、市有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業が開始される予定です。

平成25年12月発行

このパンフレットは1部あたり約9.34円で55,000部を作製しています。
この印刷物は、グリーン購入法（国等により環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

リサイクル適性の表示：紙へのリサイクル可



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています

お問い合わせ

多治見市環境課

電話：22-1111（内線1333～1335）

三の倉センター

電話：23-1103